

令和 6 年第 2 回嬉野市議会定例会

一般質問通告書

嬉野市議会

令和6年第2回嬉野市議会定例会一般質問通告書

発言順番	議席番号	質問者氏名	質問事項及び要旨	頁番号
1	7	諸井 義人	農業振興について	1
			観光振興について	
2	12	森田 明彦	嬉野市総合計画後期基本計画について	2
3	15	梶原 陸也	気象防災アドバイザーについて	3
			災害時のトイレ対応について	
4	10	川内 聖二	固定資産税について	4
			区画整理事業について	
5	13	芦塚 典子	少子化対策について	5
			公共施設管理について	
			治水対策について	
6	1	水山 洋輔	農業施策について	6
			市内の公園及びスポーツ利用可能な公共施設について	
			ライドシェアについて	
7	8	山口 虎太郎	茶振興策について	7
			温泉資源について	
8	3	古川 英子	嬉野市内における道路の補修計画について	8
			嬉野茶の普及・販売について	
			轟公園からの塩田川両岸の桜並木の保守管理について	
9	5	山口 卓也	地域脱炭素事業について	9
			太陽光発電設備に係る維持管理等について	
			水稻直播栽培の現状とこれからの取組みについて	
			バスを利用する者への通学費補助金について	
10	6	諸上 栄大	轟の滝公園周辺について	10
			公有財産について	
			イベントについて	
11	2	大串 友則	市内中学校の部活動の現況について	11
			観光施策について	
			公園等の樹木管理について	

発言順番	議席番号	質問者氏名	質問事項及び要旨	頁番号
12	11	増田 朝子	学校における児童生徒の健康診断について	12
			産前産後ケアについて	
			広川原キャンプ場について	
13	4	阿部 愛子	食糧自給率向上に向けた農業の生産向上促進について	13
			嬉野産品の地産地消について	
			誰もが使いやすいトイレへの改修について	
14	9	宮崎 良平	公有地の適正利用及び民間の所有する市内観光拠点について	14
			基幹産業である嬉野茶の販売促進について	
			災害における市の対応について	

一般質問 日程	6月17日	諸井義人、森田明彦、梶原睦也、川内聖二、芦塚典子
	6月18日	水山洋輔、山口虎太郎、古川英子、山口卓也、諸上栄大
	6月19日	大串友則、増田朝子、阿部愛子、宮崎良平

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月20日

通告者(議席番号 7番)

諸井 義人

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 農業委員会 会長	農業振興について	<p>1 高齢化や人口減少により、農業従事者の減少及び耕作放棄地の拡大が懸念されている。農林水産省は地域計画の策定期限を令和7年3月までとしている。本市における人・農地プランから地域計画の状況について伺う。</p> <p>① 地域計画の策定及び実行までの流れについて伺う。</p> <p>② 地域計画の進捗状況について伺う。</p> <p>③ 協議の場や集落での説明について伺う。</p> <p>④ 本市における農地の集約及び農地の活用や後継者問題について伺う。</p> <p>⑤ 認定農業者になる方の動向について伺う。</p> <p>⑥ 農業委員や農地利用最適化推進委員の協力なしでは進まない。委員の過重負担にならないような方策は考えているか伺う。</p>
市長	観光振興について	<p>1 嬉野・塩田・吉田をつなぐ観光戦略について伺う。</p> <p>① バス事業者等と連携しての周遊バスの導入について検討できないか伺う。</p> <p>② 観光案内パンフレットやマスコミ等への広報について伺う。</p> <p>③ 観光案内の看板及び道路案内板について伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月20日

通告者(議席番号 12番)

森田 明彦

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	嬉野市総合計画後期基本 計画について	<p>1. 昭和63年に新聞報道された、江戸初期の赤絵が吉田の古窯跡から発掘されたことについて。 ①商工業分野で実際に陶片等も多数保存されているが、このロマンあふれる物の情報発信の一環として常設展示含め有効活用させていただくべきと考えるがいかがか。</p> <p>②歴史・文化・芸術分野での施策展開において、陶磁器文化などの情報発信にも活用させていただくべきと考えるがいかがか。</p> <p>2. 新幹線嬉野温泉駅周辺まちづくりについて。 ①開業から早2年弱が経過したが、交流機能の充実では、現在「マルシェ」等で活発に展開されているが、多機能に使える屋内スペースや小規模屋外イベントに使える広場整備については進んでいるのか伺う。 ②肥前電気鉄道（大正4年～昭和6年）に関してもパネル等で紹介する価値があると考えるがいかがか。</p> <p>3. 消防・防災について。 ①防災メールなどの緊急連絡網の普及についてはどのように進めるのか伺う。 ②避難所を開設・運営するための、市・地域防災組織・地域住民の3者連携の体制づくりは計画的に進んでいるか伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月20日

通告者(議席番号 15番) 梶原睦也

嬉野市議会議長様

記

N o. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	気象防災アドバイザーについて	<p>気象防災アドバイザーとは、自治体の防災の現場で即戦力となる者として気象庁が委嘱した防災の知見を兼ね備えた気象の専門家である。本市においても気象防災アドバイザーを採用し、異常気象による豪雨災害等に対し、災害発生前から適切な対応が取れる体制整備が重要であると考える。</p> <p>① 災害予測はどのように行われているのか。</p> <p>② 地域別の避難基準は誰が決めるのか。</p> <p>③ 気象防災アドバイザーの採用についての見解を伺う。</p>
市長	災害時のトイレ対応について	<p>能登半島地震では、国によるプッシュ型支援により「仮設トイレ」が各地の避難所に届き始めたのは、発災から4日目以降となりトイレの課題が顕在化した。そこで、本市における災害時のトイレ対応について伺う。</p> <p>① 本市での仮設トイレ設置計画について伺う。</p> <p>② 避難所でのトイレ使用が困難になった時の対応について伺う。</p> <p>③ マンホールトイレの設置並びに携帯トイレの備蓄状況はいかがか。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月21日

通告者(議席番号 10 番)

川内 聖二

嬉野市議会議長 様

記

N o. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市 長	固定資産税について	<p>2024年度は、固定資産税の対象となる土地や家屋について税額算定の基礎となる価格を見直す、3年に一度の「評価替え」の年である。今回、固定資産税に関して伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">固定資産税評価額の算定方法を伺う。固定資産税評価額の見直しは、どのようにして行われているのか伺う。自然災害等で被災された土地や家屋に対して減免措置等はあるのか伺う。土砂災害の危険性がある場所に新しく指定される土地や家屋に対し、固定資産税の評価替えは行われるのか伺う。
市 長	区画整理事業について	<p>これまで本市では、合併前より嬉野都市計画事業として土地区画整理事業が行われてきた。現在、嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業が進められているが、これまでの土地区画整理事業の経緯と今後新たな土地区画整理事業の構想や計画等が策定されるのか伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月20日

通告者(議席番号 13番)

芦塚 典子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長・教育長	少子化対策について	<p>1. 本市の合計特殊出生率は、約40年前の1983～1987年においては、長期的に人口を維持するために必要な水準である2.07に近い水準であった。その後、全国的な傾向と同様に低下傾向にあったが、2018年～2022年においては、1.54となっている。これは全国(1.33)より高いが、佐賀県(1.59)よりやや低い水準にある。県内の市では、伊万里市(1.77)、唐津市(1.76)が高く、本市は、10市中7番目に位置している。本市は少子化対策にどのように取り組んでいるか伺う。</p> <p>2. 高等学校等就学支援、在宅育児支援、保育料支援、学校給食費支援、不妊治療費助成などの支援により合計特殊出生率を改善している自治体があるが、本市の合計特殊出生率改善への今後の施策を伺う。</p>
市長	公共施設管理について	<p>今年度4月に、産業建設常任委員会で、建築40年以上経過の都市公園現状について調査を行い、それぞれに課題もあるものの適切に管理をされている状況であった。塩田町内に設置されている公園についても、特に市内外からの利用者が多い和泉式部公園、北部公園等の公衆トイレにおいては、主に子どもたちの利用が多く水洗や多目的トイレ等に改修することが必要であると思われるが、今後の改修計画を伺う。</p>
市長	治水対策について	<p>1. 出水期を前に豪雨災害対策として河川改修や河川浚渫(しゅんせつ)改良事業に令和6年度当初予算を組んでいる市町が多いが、大雨に備える、河川の浚渫(しゅんせつ)工事事業やため池放水路改修事業等の今年度の計画を伺う。</p> <p>2. 3月議会で提言した住宅かさ上げ工事・盛土工事等に対する支援は計画されるのか伺う。その他浸水予定地の住宅移転、ため池治水活用に対する補助や水害補償加入に対する支援等、治水対策への取り組みを伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 6年 5月 21日

通告者(議席番号 1 番)

水山洋輔

嬉野市議會議長 辻 浩一 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	農業施策について	<p>第2次嬉野市総合計画に示されてある農業の施策展開について伺う。</p> <p>① 農業の担い手育成と後継者の確保の現状の取り組みについて伺う。</p> <p>② 農福連携の現状の取り組みについて伺う。</p> <p>③ うれしの茶の生産振興・消費拡大の現状の取り組みについて伺う。</p>
市長 教育長	市内の公園及びスポーツ利用可能な公共施設について	<p>① 公園及びスポーツ利用が可能な公共施設の利用状況を伺う。</p> <p>② 老朽化している施設もあるが、今後の維持管理や施設改修の考え方について伺う。</p> <p>③ 公園並びにスポーツ利用が可能な公共施設の利用料金と減免措置の考え方について伺う。</p>
市長	ライドシェアについて	<p>① 地域交通の1つの担い手としてライドシェアをどのようにとらえているか伺う。</p> <p>② 自治体ライドシェアという取り組みがあるが、本市において調査・研究を進めているか伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月21日

通告者(議席番号 8番)

山口 虎太郎

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	茶振興策について	<ol style="list-style-type: none">1. 昨年の9月定例会において茶振興策等を質問した際に、市長から「県単事業の茶生産販売対策強化事業が創設され、それに伴いモデル地区をつくる」と言われたが、その後の展開と成果の説明を伺う。2. また、茶販売対策強化に予算をつけ事業に取組むとの説明もあったが、その内容と成果の説明を伺う。3. 今後の茶農業経営に、どのような経営支援を計画されるのか伺う。4. 本市の農業人口も激減しているが、今後の茶生産農家を残すための対策について市および活性化委員会ではどのような方向なのか伺う。
市長	温泉資源について	<ol style="list-style-type: none">1. 本年第1回定例会3月11日の議案質疑において、他の議員が温泉配湯管調査に対する質疑を行った際に、市長答弁の中で「温泉資源保護のための条例制定を検討する」と説明されたが、条例制定に向けての進捗状況を伺う。2. また、配湯管調査の結果は、いつ公表される予定なのか伺う。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 6年 5月 23日

通告者(議席番号 3番) 古川 英子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	嬉野市内における道路の補修計画について	市内の道路状況が悪い個所を見受け、国道・県道・市道の補修計画について伺う。 1. 国道34号の湯野田から不動山方面の補修計画があるか伺う。 2. 雨天時に県道（塩田・嬉野間）のわだち（タイヤの跡）が目立つが、補修工事の計画があるか伺う 3. 今寺交差点から下野方面への道路（市道一丁田線）において、マンホールの部分が浮かび上がっている（周りの道路が沈下している）箇所を見受ける。補修工事の計画を伺う。
市長	嬉野茶の普及・販売について	新茶の季節となり、日本一のお茶の産地である嬉野において嬉野町でのアピールはどのようにされているのか。 1. 嬉野温泉駅前や商店街、チャオシルなどでの普及活動はされているのか伺う。 2. 嬉野市内の小売店で嬉野茶の販売は行われているのか伺う。
市長	轟公園からの塩田川両岸の桜並木の保守管理について	春になると一斉に桜が咲き、見事な桜並木を見る事ができるが、桜の木が害虫に蝕まれている状況である。そこで、管理状況について伺う。 1. 保守点検はどのようになされているのか伺う。 2. 桜の木の一部が枯れているが、原因調査と対策はなされているのか伺う。 3. 今後、植樹予定があるのか伺う。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月21日

通告者(議席番号 5番)

山口 卓也

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	地域脱炭素事業について	①令和5年度に地域脱炭素事業で策定された地域再エネ導入戦略の内容及びポテンシャル調査業務の結果を伺う。 ②今後の事業展開を伺う。
市長	太陽光発電設備に係る維持管理等について	①市有地で稼働中の太陽光発電設備(嬉野吉田ソーラーパーク)の管理運営について、市としてはどのように関わっているのか。 ②嬉野吉田ソーラーパークから流れ出る水路にて土砂が堆積している。太陽光発電設備の影響が考えられるが、市として土砂の撤去が必要ではないか。
市長	水稻直播栽培の現状とこれからとの取組みについて	①本市で実施されている水稻直播栽培の現状を伺う。 ②将来的な担い手不足や農地集約化を踏まえると水稻直播栽培の取組みは重要なものと考える。市として推進していく考えはあるか。
市長 教育長	バスを利用する者への通学費補助金について	①小学生の学年により補助率が異なるが、一律100分の100とすることができないか。 ②バスを利用する者への通学補助金の支給対象者を広げることができないか。

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月27日

通告者(議席番号 6番)

諸上 栄大

嬉野市議會議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	轟の滝公園周辺について	<p>1 轟の滝公園にあったプールについては、現在閉鎖中の状況である。閉鎖された理由を改めて伺うとともに、今後についてどのような方向性を考えているのか伺う。</p> <p>2 轟の滝公園は周辺を散策できるように遊歩道があり、散歩コースとして市民の方々が利用されている。そのコース中の藤棚がある場所付近に、樹木等の根が出ており地面の凹凸がある。転倒の危険性もあるため対応をお願いしたいとの声が聞かれるが、その対応についてどのように考えるか伺う。</p>
市長	公有財産について	<p>1 市内における公有財産（土地等も含め）について、全体的に何カ所あるのか伺う。</p> <p>2 その中において、現在活用されていない箇所について伺う。</p> <p>3 市内に2カ所あった旧体育館の解体が終了したが、今後の体育館跡地活用についての考えを伺う。</p>
市長	イベントについて	<p>1 市内においても一年を通して、様々なイベント（お祭り等）が行われている。観光地である嬉野市として、イベント（お祭り等）をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>2 お茶の産地としての茶市の開催についての考えを伺う。</p> <p>3 新たな取り組みとして、塩田川沿いに桜の木が植えてある轟の滝公園付近から温泉公園辺りまでの区間を活用し、桜の咲く季節に新たなイベントの取り組みなどが考えられないか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会会議規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月27日

通告者(議席番号 2番)

大串 友則

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
教育長	市内中学校の部活動の現況について	<p>1. 嬉野市において部活動の地域移行の計画は令和7年度までの地域部活動連携方式で進行中と思うが、進捗状況を伺う。</p> <p>2. 地域のスポーツクラブや文化団体と連携することが必要だと考えられるが協議等はされているのか伺う。</p>
市長	観光施策について	<p>1. 本年度は SAGA2024 国スポ・全障スポが開催され、たくさんの関係者が訪れて来られる。観光 PR のチャンスとも捉えられるが、どの様なおもてなしを考えられているのか伺う。</p> <p>2. SAGA2024 国スポ・全障スポ開催時の公共交通計画はどのように考えられているのか伺う。</p> <p>3. 観光戦略の進捗状況を伺う。</p>
市長	公園等の樹木管理について	<p>1. 樹木の老木化等により病害虫の被害などが見受けられるが、どのような管理計画になっているのか伺う。</p>

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和6年5月27日

通告者(議席番号 11番)

増田 朝子

嬉野市議会議長 様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長 教育長	学校における児童生徒の健康診断について	<p>1. 学校における児童生徒の健康診断について</p> <p>①健康診断の内容（検査項目も含む）を伺う。</p> <p>②実施における児童生徒への配慮はどのようにされているのか伺う。</p> <p>③保健調査の状況と効果を伺う。</p> <p>④健康診断の事後処置はどのようにされているのか伺う。</p> <p>2. 不登校児童生徒の健康診断は、どのように対応しているか伺う。</p>
市長	産前産後ケアについて	<p>1. ゆっつら子育て応援事業について</p> <p>①伴走型相談支援の内容を伺う。</p> <p>②「プレパパ・ママのための赤ちゃんのお世話サーキットトレーニング」の取組みの状況と効果を伺う。</p>
市長	広川原キャンプ場について	<p>1. 事業の運営状況と課題を伺う。</p> <p>（申込みから利用料支払いの流れも含む）</p> <p>2. 令和6年3月議会において嬉野市営キャンプ場条例の一部が改正された。設置の目的として「地域の特性を活かした地域内外の住民との交流活動の推進を図る」とあるが、どのようなことか。</p> <p>3. また、利用時間及び利用期間は、規則で決めるとあるが、どのように決まったのか伺う</p> <p>4. 令和7年度より指定管理の予定だが、指定管理要項の作成状況と今後のスケジュールを伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 6年 5月 27日

通告者(議席番号 4番) 阿部 愛子

嬉野市議会議長様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	食糧自給率向上に向けた農業の生産向上促進について	<p>① 嬉野市として、特に重点をおかれている農業政策とはどの政策か伺う。</p> <p>② 個人農業者に対する、嬉野市独自の農産物の価格保証や個人農業者（農家）に対する所得補償は、現在あるのか伺う。</p>
市長 教育長	嬉野産品の地産地消について	<p>① うれしの産うまかもん給食支援事業は、学校給食用食材料費の一部を負担する経費として、令和6年度当初予算で1,773千円を計上している。今年度の給食日数のうち支援事業補助日数は10日で間違いないか。また、支援事業補助日数を拡大する予定はあるのか伺う。</p> <p>② 学校給食パンに使われている小麦は、佐賀県産あるいは国産か輸入小麦なのか伺う。</p>
市長 教育長	誰もが使いやすいトイレへの改修について	<p>① SAGA2024国スポーツの競技会場であるみゆき公園内のトイレは和式が多い。洋式トイレに改修する計画はあるのか伺う。</p> <p>② 文化センター3Fの和式トイレを、洋式トイレに改修する計画はあるのか伺う。</p>

様式1号

一般質問通告書

下記のことについて、嬉野市議会規則第61条第2項の規定により一般質問の通告をいたします。

令和 6年 5月 27日

通告者(議席番号 9番) 宮崎 良平

嬉野市議会議長 辻 浩一様

記

No. 1

質問の相手	質問の事項	質問の要旨
市長	公有地の適正利用及び民間の所有する市内観光拠点について	<p>1. 旧医療センター跡地における解体の進捗と今後の計画について市の見解を伺う。</p> <p>2. 先導的官民連携支援事業において、DMOとの連携による都市公園と公有地の段階的利活用事業化調査として報告書が作成されている。この調査結果について、市としての見解を伺う。</p> <p>3. 民間の所有する市内観光拠点として嬉野バスセンターが重要な拠点として挙げられるが、市民の声として老朽化及びトイレ改修等上がっている現況において市の所感を伺うとともに、まちづくりの観点から、所有されている民間事業者との今後のバスセンターのあり方について協議等されているのか伺う。</p>
市長	基幹産業である嬉野茶の販売促進について	<p>1. 令和5年第77回全国茶品評会において、蒸し製玉緑茶、釜炒り茶の2部門の農林水産大臣賞を含む4冠達成という快挙を達成された。</p> <p>しかしながら、生産現場での厳しい現況は変わらず、収益性に繋がるような改善はあまり図られていない。お茶の販路拡大に向けて、市の見解及び今後の市としての対策を伺う。</p> <p>2. 「新茶時期に茶市を開催して欲しい」との市民の声をいただくが、市としての見解を伺う。</p>
市長 教育長	災害における市の対応について	<p>1. 令和6年元日に、能登半島において大地震が発生し、これまでに約260名の尊い命が失われた。</p> <p>その中に直接的な被害から命は守れたものの、精神的ショックまたは、厳しい避難生活における間接的な要因での災害関連死が多く見受けられる。</p> <p>わが市においても北部九州豪雨時では土砂災害、浸水等に</p>

	<p>おいて大きな打撃を受けており、今後、想定外の災害が発生することも想定される。そこで災害関連死について、市の見解と対策についての考えを伺う。</p> <p>2．大きな災害が発生し、命の危険が脅かされるような緊急事態時において自衛隊等への災害派遣の判断および要請は誰がどのような形で行うのか。想定されている災害発生時からの流れも含めて伺う。</p> <p>3．被災後の後片付け等において、災害ボランティアの要請、または受け入れ等、その判断および要請等は誰が行い、どのような流れになるのか伺う。</p>
--	---